

1

〔解答例〕

A インダス文明滅亡後の前1500年頃、パンジャーブ地方に移住したアーリヤ人はヴェーダを聖典とするバラモン教を生み出した。その後彼らは先住民を征服しつつガンジス川流域に進出しブラーフマン・クシャトリヤなど4 ヴァルナからなる身分制度を形成した。しかし前6世紀頃にはバラモン教を批判し万民平等を説く仏教・ジャイナ教が成立。広大な帝国を築いたマウリヤ朝のアショーカ王は仏教に帰依し、ダルマに基づく統治を目指した。

B 半島北部の高句麗は西晋末期の混乱に乗じて楽浪郡を滅ぼし、南西部の百済をも圧迫した。南東部の新羅は6世紀には加羅諸国を併合し、勢力を拡大した。隋による中国統一後、煬帝は3回にわたる高句麗遠征を行ったが、いずれも失敗した。しかし7世紀後半には唐と新羅が同盟を結んで百済・高句麗を滅ぼし、また百済再興を目指す日本の水軍をも白村江で撃破した。その後新羅は唐の勢力を大同江以北に排除し、半島の統一を達成した。

2

〔解答例〕

(ア)順治帝時代、清は明の降将呉三桂らの協力で北京に入城し遷都すると、彼らの協力で明の皇族・遺臣が江南に建てた南明政権を平定、この功績から呉三桂ら3武将を藩王に封じた。一方、華南沿岸の復明勢力の孤立を狙って遷界令を発すると、孤立した鄭成功は台湾を拠点に抵抗を続けた。康熙帝が三藩の撤廃を図ると三藩の乱が起き、鄭氏もこれに呼応したが、1681年に乱を鎮圧、83年に鄭氏台湾も滅ぼし、清は中国全土の支配を確立した。(199字)

(イ)17世紀前半、徳川幕府と朝鮮は対馬を介して対等な国交を結び、朝鮮国王は日本に通信使を派遣した。次いで清が成立すると、太宗の侵攻で朝鮮は清の藩属国となった。1875年の江華島事件を機に、日本が不平等条約の日朝修好条規で朝鮮を開国させた。朝鮮をめぐる日清が対立すると、朝鮮でも事大党と開化派が対立して甲申政変が起き、鎮圧した清が影響力を強めたが、日清戦争後の下関条約で朝鮮は完全独立し、清への朝貢を停止した。

(199字 太字・下線は指定語句)

3

〔解答例〕

1－1 ムガル帝国はアクバル以来、異教徒のジズヤを廃止するなど寛容な政策をとってきたが、アウラングゼーブは弾圧政策に転換した。(60字)

1－2 全国を州・県・郡に分け中央から役人を派遣して統治させ、土地を測量して徴税制度を確立し、在地の豪族に徴税を請け負わせた。また官職保有者には維持すべき騎兵・騎馬の数に応じて給与地を割り当てる制度を定め、軍事・行政の支柱とした。この制度にはラージプートの王侯など異教徒も組み込まれた。(140字)

2－1 康熙帝

2－2 ルイ14世

2－3 ヌルハチの代に満州八旗が、ホンタイジの代に蒙古八旗・漢軍八旗が編成され、旗人には旗地が分与された。(50字)

2－4 康熙帝は当初キリスト教の布教に寛容な姿勢を示したが、孔子の崇拝や祖先の祭祀などの典礼に中国人信者が参加することを是認するイエズス会とこれを否認するフランチェスコ会・ドミニコ会などとの間で論争が起こり、ローマ教皇が中国人信者の典礼参加を禁止とすると、イエズス会以外の布教を厳禁した。(140字)

4

〔解答例〕

A一つはサファヴィー朝で、1501年にイスマーイール1世によって創建されイランを支配した。この王朝はシーア派を国教としてスンナ派のオスマン朝に対抗するとともに、伝統的なシャーの称号を用いてイラン人の民族意識を高揚させた。もう一つは1526年にバーブルが建設し北インドを支配した王朝で、彼がティムールとチンギス＝ハンの血縁でもあったことからムガル朝と称された。この王朝の君主もスルタンではなく皇帝の称号を用いた。

(200字)

B 1 五・四運動

B 2 1915年に開始された文学革命では、陳独秀や白話を提唱した胡適らが『新青年』を通じて儒教思想に基づく旧来の制度や道徳などを批判し、魯迅も白話小説『狂人日記』を著して社会の悪弊を告発した。1919年の北京の学生による反日運動に端を発した五・四運動は、大衆を巻き込む反帝国主義運動に発展し、パリ講和会議の中国代表にヴェルサイユ条約の調印拒否を余儀なくさせた。(175字)

5

〔解答例〕

1 太平天国。曾国藩ら漢人官僚は、各自の郷里で地方官僚や郷紳と協力して自衛のための民兵組織である郷勇を編成した。これらは湘勇・淮勇・楚勇などと呼ばれ、土地均分を唱えて貧農を糾合した太平天国に対抗した。(99字)

2 洋務運動。欧米列強の圧倒的な軍事力を実感した曾国藩らの洋務派は、中国は制度や文化に優れ、西洋は技術に優れているから、西洋の技術を摂取すれば清朝の延命と近代化は達成される、とする中体西用論を提唱した。(100字)

3 コーカンド=ハン国を併合したロシアは、ヤクブ=ベクら新疆のイスラーム教徒の対清反乱を支援したが左宗棠が鎮圧し、清朝とロシアは1881年にイリ条約を締結して国境を画定、清朝は新疆を省に昇格させ侵略に備えた。一方仏越戦争以降阮朝への侵略を強めたフランスに対して中国系の黒旗軍が抵抗し、フエ条約でフランスが阮朝を保護国とすると清仏戦争が勃発したが、敗れた清朝は85年の天津条約で阮朝に対する宗主権を放棄した。(199字)

6

〔解答例〕

A 外国軍の北京駐兵権は義和団事件後の1901年に列強11カ国との間で結ばれた北京議定書（辛丑和約）に基づいている。この議定書では清朝に巨額の賠償金が課され、その財源とされた関税・塩税などが外国人の管轄下におかれたことから、中国の半植民地化が加速した。また清朝に一切の排外運動を取締る義務が課されたことは、列強の利権擁護のために、中国における利権回収運動や民族運動を抑圧する役割を清朝に負わせる結果となった。

B 朝鮮は日本が設置した総督府の支配下におかれたが、1919年の三・一独立運動を機にその支配は武断政治から文化政治に改められた。日中戦争開始後には創氏改名、神社参拝の強制、日本語教育の強制などを骨子とする皇民化政策とよばれる日本への同化政策が進められるとともに、日本国内での労働力不足を補うために朝鮮人民が強制連行され、過酷な労働を強いられた。さらに太平洋戦争での戦局悪化後には朝鮮でも徴兵制が実施された。

7

〔解答例〕

1 日本は開戦にともない日韓議定書を結んで韓国に戦争協力を強いた。次いで第1次日韓協約で韓国政府に日本政府の推薦する財政顧問、外国人外交顧問の雇用を認めさせ、さらに戦後、第2次協約で外交権を掌握して統監府を設け保護国化を進めた。韓国内では義兵闘争が激化した。高宗によるハーグ密使事件が起こると、日本は第3次協約を結んで内政権も掌握し、1909年の安重根による伊藤博文の暗殺を経て、翌年韓国併合条約を結んだ。

2 義和団事件後、西太后のもと、袁世凱らの主導で行われた改革で、日本の明治憲法を模範とする憲法大綱を發布し、国会開設を公約して立憲君主政を指向した。また科举を廃止し、軍機処・内閣大学士に代えて責任内閣制の導入を図り、主に日本留学生を将校とする西洋式軍隊である新軍を各省に設置した。しかし孫文の革命思想に共鳴した留学生たちは帰国して新軍の幹部となり、清朝の幹線鉄道国有化令に反発して辛亥革命を引き起こした。

8

〔解答例〕

1 孫文。日露戦争における日本の勝利に刺激を受けた孫文は清朝の打倒と漢民族による共和国の建設を目指し1905年東京で、華興会や光復会などの革命団体と彼自らハワイで組織した興中会の大同団結を実現し中国同盟会を結成した。同盟会は孫文の提唱により驅除韃虜、恢復中華、創立民国、平均地権を綱領とし、また孫文は機関誌「民報」で四大綱領の根底となる思想として民族独立・民権伸張・民政安定の三民主義を掲げた。

2 袁世凱。孫文と取り引きして宣統帝を退位させ中華民国の大總統に就任した袁世凱は独裁体制を強化し、1915年末に帝政を宣言したため第三革命が起こった。また同年、ドイツ山東権益の移譲や遼東半島の権益延長を内容とする日本の対華21カ条要求に屈したこともあって内外からの批判が高まり、1916年三月に帝政を撤回し、六月失意のうちに病死した。その結果、中華民国は彼の部下の軍人たちによる軍閥割拠の時代に突入した。



9

## 問1

### 〔解答例①〕

1924年、孫文の提唱をうけて国民党一全大会で連ソ・容共・扶助工農政策が採択された。これをもって第1次国共合作が成立し、広東に国民政府が樹立された。26年には北伐が開始されたが、同時に高揚した共産党指導下での労働運動への対応をめぐって国民革命軍内部に亀裂が生じ、27年、国民党左派と共産党は汪兆銘を中心に武漢に政府を移した。蒋介石が率いる国民党右派は、同年浙江財閥と結んで上海で反共クーデタを強行したのち、南京政府を樹立して武漢政府に対抗した。その後国民党左派が武漢を離脱して南京政府に合流したことから国共合作は破綻した。北伐は28年の国民革命軍の北京入城と東北軍閥を率いていた張学良の帰順をもって完了した。

### 〔解答例②〕

1924年孫文の提唱で国共合作がなった。翌年孫文が亡くなると、汪兆銘を首班とする広東政府が樹立され、同政府は26年に蒋介石を国民革命軍総司令官として北伐を開始した。しかし、共産党の指導する農民・労働運動の激化や武漢への政府移転をめぐって蒋介石ら国民党右派と汪兆銘ら国民党左派・共産党の対立が激化した。27年4月蒋介石は上海クーデタを敢行して共産党の弾圧をおこない、同時に南京国民政府を樹立した。これに対し武漢の国民党左派勢力は共産党との提携を破棄して南京政府に合流、国共合作は崩壊した。中断していた北伐は28年に再開され、国民革命軍の北京入城に続き、奉天軍閥を率いていた張学良も蒋介石に帰順して北伐は完了した。

## 問2

### 〔解答例①〕

2当時ヴェトナムはフランス領インドシナに編入されていたが、ホー＝チ＝ミンらは1925年に広東でヴェトナム青年革命同志会を組織し、30年にコミンテルンの指導の下にインドシナ共産党を結成して反仏闘争を指導した。

### 〔解答例②〕

2フランスのヴェトナム支配に対し広東で結成のヴェトナム光復会の独立運動は挫折した。一方ホー＝チ＝ミンらは1925年広東でヴェトナム青年革命同志会を、次いで30年にインドシナ共産党を組織して反仏闘争を展開した。

10

〔解答例〕

A 立憲君主政。アロー戦争の敗北後、曾国藩・李鴻章らが進めた洋務運動は、中体西用を基本方針とし、軍事技術を始めとする西洋近代技術の導入による富国強兵と皇帝専制体制の再建を目指したが、日清戦争の敗北などによってその限界を露呈した。他方日清戦争後、光緒帝の信任のもとに康有為らが着手した変法運動は、保皇立憲の立場から日本の明治維新を範とした立憲君主政の樹立を目指したが、西太后らの保守派によって弾圧された。

B ロシアでのユダヤ人虐殺事件やフランスのドレフュス事件に象徴されるヨーロッパでの反ユダヤ主義の再燃を背景に、19世紀末、ヘルツルらの指導のもとパレスティナにユダヤ人国家を建設するシオニズム運動が開始された。イギリスは第一次世界大戦中の1915年にフサイン＝マクマホン協定でオスマン帝国からのアラブ人の独立を認めながら、17年のバルフォア宣言ではシオニズムを承認し、アラブ人とユダヤ人の対立の構図を生み出した。

11

〔解答例〕

A

(1)世界恐慌の波及に伴い、英米の主要国は金本位制を停止し自国と自治領などを排他的な経済圏に囲い込むブロック経済を形成した結果、世界市場は収縮し自由貿易は大きく後退した。(2)ガンディー・ネルーを指導者にインドの独立運動が本格化し、1929年の国民会議派のラホール大会ではプールナ＝スワラージが宣言された。(3)民族資本が成長する一方で、世界恐慌後、綿花価格が暴落し輸出が落ち込み、農業生産・工業生産ともに減少した。

(200字)

★(1)83字(2)64字(3)53字

★(1)(2)(3)など、問題番号表記は1字で計算した。

B

日本の食糧不足を解決するために朝鮮では米の増産計画が推進され、1920年代後半以降、朝鮮産米の多くが日本に移出された。世界恐慌に伴う日本経済の混乱を契機に31年、関東軍が満州事変を起こすと、日本は朝鮮の資源や人員を中国侵略に利用し、37年の日中戦争の勃発以後は、国家総動員体制のなかで皇民化政策が進められ、日本語の強制、創氏改名、軍需工場や鉱山などへの徴用が実施され、太平洋戦争勃発後には徴兵制が実施された。

(200字)

12

〔解答例〕

問1★解答の字数はA, B … などの記号を全て含む。

A インドネシア B 1955 C バンドン

領土主権の尊重, 内政不干涉, 平和共存などの平和五原則を拡大した平和十原則を採択。反帝国主義・反植民地主義の理念を打ち出し, 非同盟運動やアフリカの独立運動などに影響を与えた。(100字)

問2★解答の字数には, 問題番号を含む。

2 周恩来。満州事変後, 侵略を進める日本に対し, 1935年, 長征途上の中国共産党は八・一宣言を発して, 内戦の停止と抗日民族統一戦線の結成を訴えた。これに共鳴した張学良は36年, 督戦に西安を訪れた蒋介石を監禁し, 内戦停止・一致抗日を迫った。共産党の周恩来の説得により蒋介石が抗日に同意し, 政府の改組を表明した。(150字)

問3★解答の字数には, 問題番号を含む。

3 ネルー。国民会議派。ボンベイ大会で地主や知識人が親英組織として結成。その後急進化し, ティラクが主導するカルカッタ大会でスワラージなど4綱領を採択。戦間期, ガンディーが非暴力・不服従運動を指導し, ラホール大会はネルーの主導で完全独立を採択。ムスリム連盟との対立激化により, パキスタンとは分離独立した。(150字)